

2024年5月7日  
イオンリテール株式会社

## AIが“その日その時”の最適な値引き率を提示しロス低減 5月より「AIカカク」を生鮮部門に適用拡大

イオンリテールは2024年5月、過去の販売データに基づきAIが適切な値引き率を提示する「AIカカク」の適用範囲を拡大します。

当社は2020年、デジタル化の一環としてAIによる需要予測に本格的に着手し、2021年に値引き支援システム「AIカカク」を総菜部門で実装しました。2022年には日配品の一部に適用拡大し、このたび新たに畜産部門と水産部門に拡大します。



AIカカク利用シーンのイメージ（鮮魚はパック後の商品に適用）

「AIカカク」は、販売実績や天候・客数などの環境条件を学習したAIが“その日その時”の需要を予測し、バーコードで読み取った商品情報と陳列数をもとに適切な割引率を提示します。データに裏付けされた価格で販売することで、導入前に比べロス率が1割以上低減しているほか、値引きや売り切り業務に関わる教育時間も低減しています。

このたび生鮮部門への拡大にあたり、部門ごとの販売特性や値引きによる売れ方の変化などを細やかに分析し、店舗特性も考慮しさまざまなチューニングを施すことで実現に至りました。これにより、適用品目数はこれまでの約1.5倍に拡大します。

### 【「AIカカク」適用拡大について】

適用スケジュール：2021年～	店内調理の総菜で適用開始
2022年～	日配品（数日期限）へ拡大
2024年5月8日	畜産部門へ拡大
2024年5月22日	水産部門へ拡大

適用品目数：約1,200品目

導入店舗：イオンリテールが運営する約380店舗

ご参考

【AIが発注起案する「AIオーダー」の適用範囲拡大について】

イオンリテールが2023年に導入した需要予測・発注システム「AIオーダー」についても、2024年6月に、適用範囲の拡大を行います。

新たに対象となるのは、日配品の漬物やチルド飲料、チーズ、ハムといった商品と、デリカの冷総菜やサラダで、品目数としてはこれまでの約2倍となります。発注にかかる時間が半減され、入荷整理や品出しをはじめ、在庫管理、値引き、発注修正などあらゆる業務負荷が減り、大きな生産性向上につながります。

イオンリテールは、店舗にとどまらず生産や流通といったサプライチェーン全体の課題解決にAIシステムを適用する展望のもと、鋭意開発を進めてまいります。

